

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり
概要	<p>子どもの健やかな成長と安心して子育てができる体制の実現のため、子育て世代包括支援センターを設置し、健康診査や健康相談・訪問指導等、妊娠、出産から、育児期を通じた切れ目のない支援の充実を図ります。</p> <p>また、食育の推進や学童期・思春期における保健対策や小児医療費の助成等により、子育てしやすい環境整備を行います。</p> <p>さらに、コンパクトな町ならではの特徴を活かし、地域ぐるみで子育て支援体制を構築することで、すべての家庭が地域で安心して子育てできる環境整備を図ります。</p> <p>また、保育の質の向上と量の確保を図るとともに、子育てに関する講座の開催や相談を通じて、保護者がともに育ち育て合う環境づくりに取り組みます。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 健康づくり支援の推進	1	A
(2) 母子保健の充実	3	C
(3) 教育・保育環境の充実	1	A
(4) 子育て中の親への支援の充実	4	B
(5) 子育てコミュニティづくりの推進	1	A
(6) 学童保育所の充実	1	A
課題 (箇条書き)	<p>・出生数は減少しているが、育児不安等の相談は増加傾向にあるので、相談窓口の紹介や関係各課、機関との調整が必要。</p>	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	<p>妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合的な相談ができる体制の整備により、子育て支援体制のさらなる強化が必要である。</p> <p>また、妊娠前からアプローチし、正しい知識や早い段階でのライフプランの設計の重要性等を知ってもらうことを通じて、出生率そのものの上昇を図る必要がある。</p>
	方向性	<p>平成29年度より子育て世代包括支援センターを開設し、保健師等の専門職による妊娠、出産から育児期を通じた切れ目のない支援を目指す。</p>

◎最終評価者[庁内評価委員会]

意見等	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	<p>生活の質の向上と定住人口の確保を実現するためには、子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後さらに推進するために、多様化する保育ニーズを反映しつつ、地域の実情に合った特色ある保育サービスの提供に努めるとともに、保育人材の確保を進め、短期的な問題解決だけでなく、中長期的な視点に立って、安心して子育てできる体制を構築していく。併せて、子どもは、次代を担う社会の一員であることから、家庭はもとより、地域、企業、行政等が連携・協力を深め、子育て支援体制の充実に努める。</p>	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
概要	<p>児童生徒の確かな学力とたくましく生きるための体力の向上を柱に、子どもたちの生きる力を育むため、特色ある学校づくりによる教育内容の充実と、地域活動への参加等の体験活動を通じた地域社会との連携を推進します。</p> <p>また、すべての児童生徒が安心して学べる教育環境をさらに充実させるため、児童生徒一人ひとりの成長に寄り添ったきめ細かな支援を行うとともに、将来を見据えた学校教育、学校施設のあり方について検討を行います。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 特色ある学校教育推進事業	2	B
(2) 支援を必要とする児童生徒への対応の充実	1	A
(3) 教育相談の充実	1	A
(4) 安全・安心な教育施設の整備	1	B
(5) 地域と連動した教育活動の充実	1	B
課題 (箇条書き)	<p>・2年継続で行っている一色小学校へのコミュニティ・スクール導入準備については28年度は研修や啓発活動を中心に取り組んだが、地域の方々の理解を深め、協力体制を整えていくには、更なる取組が必要である。</p>	

総合 評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	A
	<p>説明</p>	<p>これまでの取り組みにより、一定の理解を得てきたが、学校と保護者、地域が力を合わせて学校運営に取り組む環境づくりを目指し、さらなる理解と協力を得るため、引き続き、分かりやすく、丁寧な対応に努める。</p>
	<p>方向性</p>	<p>コミュニティ・スクールについては、啓発や情報発信等に工夫をし、地域の参加を広げる。また、モデル校として先行導入を目指している一色小学校に続き、他校においても導入に向けた準備を進める。</p> <p>小中一貫教育については、コミュニティ・スクールとの有機的な連携も見据え、今後の学校のあり方も含めた研究を継続する。</p>

◎最終評価者[庁内評価委員会]

	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	A
意見等	<p>生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。</p> <p>今後さらに推進するために、地域の資源を最大限活かした教育活動の充実を図るとともに、学校と地域が連携を図り、一体となって教育活動に取り組む。併せて、将来を見据えた学校教育・学校施設のあり方については、学校、家庭そして地域が互いの役割を認識し、子どもたちの教育に対する共通の認識と目標の下、検討を進める。</p>	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
概要	<p>高齢化の進展に伴い、高齢者の就労や活躍の場づくり、社会参加に向けた活動の支援について推進する必要があります。</p> <p>高齢者が地域の中でいきいきと暮らせる生活環境づくりを進めるとともに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築し、推進を図ります。</p> <p>また、子どもや高齢者、障がい者等、誰もがいくつになっても地域で健やかに自立した生活を送ることができるよう、気軽に運動ができる環境づくりを進めるとともに、民間の力を活かした健康・体力づくりの機会をつくること等により、未病に対する取り組みを推進し、町民の健康・体力増進を図ります。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 地域福祉の充実	1	A
(2) 地域包括ケアシステム	1	A
(3) 生きがいづくりと社会参加の促進	2	B
(4) 健康づくりと介護予防の促進	1	B
(5) 充実した介護サービスの提供	1	A
(6) 健康づくり支援の推進	1	A
(7) 地域医療の充実	1	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の声を(アンケートを実施)反映した高齢者福祉計画の改定につなげる。 ・がん検診等の受診率の向上 	

総合 評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
	説明	地域支援事業の実施および計画策定に向け、検討・準備を行ってきた。また、福祉サービスについても妥当性、有効性などを考慮し29年度に向け見直し検討を行い、必要なサービスや事業は継続、改善に向け取り組んでいる。 病気の早期発見、早期治療や重症化を防ぐためにも、がん検診・特定健診は有効であることから、未受診者への受診勧奨に力を入れて取り組む。
	方向性	地域の通いの場を中心に介護予防だけでなく、地域の困りごとを解決できる(生活支援)よう、地域の理解を得る。 お互いさま推進協議会(町域の協議体)と一色小学校区福祉協議会(地域の協議体)との連携を図り、地域共生社会へ向けての動きを明らかにし、他の小学校区でも地域の協議体の必要性を理解してもらう。 在宅医療介護連携事業の推進に努める。 未病センターを設置し、町民の健康や運動に関する意識の向上に努める。 併せて、県、民間事業者、県内自治体が連携して実施している未病サミットに参加し、イベントなどを通じて普及啓発を図ることで、町民一人ひとりの主体的な健康の維持・増進や健康意識の改革を図る。

◎最終評価者[庁内評価委員会]		
	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。 今後さらに推進するために、関係機関や町民との連携を深め、地域資源や特性を生かした支援のネットワークの充実を図る。併せて、健康寿命の延伸に向け、健康増進への意識や運動継続への意欲の向上を図るとともに、子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に健康づくりに取り組むことができる環境の充実を図る。	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	「にのみやLife」の提案と発信
概要	<p>人口の減少傾向を抑制するために、「二宮町に住み続けたい」、「二宮町に戻ってきたい」、「二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるようなライフスタイル「にのみやLife」として確立し、そのプロモーション戦略を推進することで、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出します。</p> <p>「にのみやLife」を確立するためには、新たな魅力を創出する、または既存の魅力を活かしながら更に魅力を高めることに取り組み、「住んで良かった」と実感してもらえよう、様々な世代の生活スタイル・ライフステージに応じた定住支援施策や移住支援施策の展開を図ります。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 健康づくり支援の推進	1	A
(2) 母子保健の充実	3	C
(3) 教育・保育環境の充実	1	A
(4) 子育て中の親への支援の充実	4	B
(5) 子育てコミュニティづくりの推進	1	A
(6) 学童保育所の充実	1	A
(7) 空き家を活用した定住促進のための住まいの確保	3	C
(8) 広報・広聴の充実	3	A
課題 (箇条書き)	<p>・シティプロモーション戦略、移住促進用パンフレットを作成し、「にのみやLOVERS～まちの魅力伝え隊～」を結成し、移住セミナー等に積極的に参加している。移住者の実績も出てきているが、町が提供する空き家情報には限りがあり、利活用には至っていない。</p>	

総合評価	<p>A: 妥当性・有効性・効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	<p>二宮の強みを活かした魅力あるくらしを提案し新しい人の流れをつくるための「にのみやLife」の提案と発信は予定通り進行しており、新たな移住者も増えている一方で、町が情報提供する空き家の利活用には結びついていない。同居・近居制度をはじめとした住宅に関する各種助成制度について、引き続き、周知を図り、利用の促進に努めるとともに、趣旨や目的、利用実態等の現状を見直し、利用者にとって、分かりやすく、使いやすい内容に改善することについて検討する。また、空き家施策のあり方について、方向性を示す必要がある。</p>
	方向性	<p>産業振興課・観光協会との連携を図りながら「にのみやLOVERS～まちの魅力伝え隊」の自由な発想を活かしたプロモーションを展開するとともに、神奈川県住宅供給公社や神奈川県大学との連携やイベントなどを通じたお試し移住の可能性について検討を進める。 住宅に関する各種助成制度について統廃合を進めつつ、空き家については、適正管理や空き家にしないための方策を計画に位置付けるとともに、町民意識の向上を目的とした啓発を実施する。</p>

◎最終評価者[庁内評価委員会]

意見等	<p>A: 妥当性・有効性・効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	<p>生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、「にのみやLife」の提案と発信は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後さらに推進するために、各種補助事業をはじめ、移住・定住のための諸施策を利用者の視点から見直すとともに、それぞれの施策を有機的に結びつけ、効果的、効率的に展開する。併せて、「にのみやLife」シティプロモーション戦略に基づき、適切な情報発信を続けるとともに、町民や関係団体等の参加と協力を得ることで、町のアイデンティティを高め、それを町の認知度やイメージ向上に繋げる好循環を創出する。</p>
	方向性	<p>生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、「にのみやLife」の提案と発信は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後さらに推進するために、各種補助事業をはじめ、移住・定住のための諸施策を利用者の視点から見直すとともに、それぞれの施策を有機的に結びつけ、効果的、効率的に展開する。併せて、「にのみやLife」シティプロモーション戦略に基づき、適切な情報発信を続けるとともに、町民や関係団体等の参加と協力を得ることで、町のアイデンティティを高め、それを町の認知度やイメージ向上に繋げる好循環を創出する。</p>

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	地域コミュニティの醸成支援
概要	<p>少子高齢化の進展・働き方の変化等から、地域活動の人材が不足し、地域コミュニティの維持が難しくなっている地域が出てきています。</p> <p>そのため、子育て世代や元気な高齢者等、全ての世代がコミュニティ活動に参加しやすく、安心・安全に住み続けられるコミュニティの醸成を支援します。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 官民協働によるまちづくり活動の推進	2	B
(2) コミュニティ活動支援	3	B
課題 (箇条書き)	<p>・「二宮町空き家バンク」の運用を開始したが、登録件数並びに成約件数共に伸び悩んでいる。</p>	

総合 評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	<p>説明</p> <p>地域コミュニティの醸成支援のため、プロジェクトは予定通り進行しているが、一つ一つの実施計画事業については、一色小学校区地域再生協議会の自走に向けた支援、地域活動支援交付金の見直し、空き家対策の検討など、さらなる推進を図るため、一部事業を改善する必要がある。</p>	
	<p>方向性</p> <p>一色小学校区地域再生協議会については自走することを共通の目標に持ち事業の絞り込みを行う。 地域活動支援交付金については、全体的な仕組みを見直す。 空き家の利活用と並行して、空き家の適正管理の取り組みについて計画に位置付けていく。</p>	

◎最終評価者[庁内評価委員会]

<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
<p>意見等</p> <p>生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、地域コミュニティの醸成支援は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。 今後さらに推進するために、地域と町が地域コミュニティの現状と課題について共通の認識を持った上で、地域の担い手として、町民をはじめ、多様な主体が行動を起こすための機運醸成を図る。併せて、地域活動が活発に、そして自立した活動が展開できるよう、地域活動支援交付金のあり方を見直し、地域コミュニティの活性化に繋げていく。</p>	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
概要	<p>町には多様な自然環境や歴史・文化等の地域資源が多数存在しており、その環境を暮らしの中に取り込むことで、住環境の魅力が形成されています。</p> <p>この魅力を町内外を問わず多くの人々に実感してもらうため、町の自然や歴史・文化等に触れられ、体験できる機会づくりを進めます。また、進学や就職等により町外へ転出しても、将来、生まれ育った二宮町に戻って子育てしたいと思ってもらえるよう、子どもたちに対して二宮町の自然や歴史、文化に触れられる機会づくりを進めます。</p> <p>観光で町を訪れた人が二宮に来ると「面白い」、「楽しい」と感じてもらい、「いずれは二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるよう、観光情報の提供に努めつつ、「にのみやLife」の提案を推進していきます。</p> <p>さらに、ホールや図書館等を兼ね備えた生涯学習センター・ラディアンは町の文化・芸術活動の拠点であることから、多様な世代が集い、学習を深め、交流する場として、町内外への発信力を強化します。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 生涯学習推進の仕組みづくり	1	A
(2) 家庭・地域の教育力の向上	2	B
(3) 地域スポーツの振興	1	C
(4) スポーツ活動支援の充実	1	B
(5) 文化・芸術の振興	1	B
(6) 町の歴史文化の継承	1	B
(7) 公園・広場の充実と適切な管理運営	1	B
(8) 緑地の保全と緑化の推進	3	B
(9) 自然環境と生物多様性の保全	2	A
(10) 水産振興の推進	2	B
(11) 観光情報の発信の充実	1	B
(12) コミュニティ活動支援	3	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館事業の展開や町民へのPR(SNSの活用)により、利用促進を図ったが、さらなる利用拡大を図るため、方策を検討する必要がある。 ・文化事業や文化団体への支援を継続するとともに、ラディアン施設のさらなる活用を図る必要がある。 	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する</p> <p>B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する</p> <p>C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある</p> <p>D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
	説明	施設稼働率や利用者の増加に向け、限られた資源を有効に活用しながら、利用者のニーズに応えるべく、創意工夫を重ねながら、取り組みを推進する必要がある。
	方向性	費用対効果を考慮した上で、利用者のニーズに応えるイベントの実施等により、施設利用者の維持・増加を図るとともに、情報発信を工夫することで、若年層を主体とした新たな利用者の開拓を図る。 また、SNSにより、図書館事業のPRを継続する。

◎最終評価者[庁内評価委員会]

<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する</p> <p>B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する</p> <p>C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある</p> <p>D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
意見等	<p>環境と風景が息づくまちづくりを実現するためには、二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後さらに推進するために、文化団体等と連携し、町民が地域の歴史や文化に触れ、学ぶ機会を創出するとともに、学んだ人たちがその成果を地域に還元できる仕組みづくりを検討する。併せて、公共施設マネジメントを踏まえた文化施設の適切な維持管理とともに、その使われ方の質にも目を向け、町全体の文化力の向上と町民主体の文化活動の促進を図る。</p>

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	子育てと仕事の両立の推進
概要	個人の価値観や生活スタイルに合わせ、誰もが多様な働き方を選択し、子育て世代のワーク・ライフ・バランスを実現するために、長時間労働といった働き方の改善や女性の就業継続・支援などを目指して、家庭や企業に対する意識啓発を推進します。

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 教育・保育環境の充実	1	A
(2) 子育て中の親への支援の充実	4	B
(3) 子育てコミュニティづくりの推進	1	A
(4) 学童保育所の充実	1	A
(5) 人権・平和の推進	2	A
課題 (箇条書き)	・子育てと仕事の両立を推進するために、各種講座の開催やチラシ等の配布により周知・啓発を図っているが、数値目標達成に直結するものではない。	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
説明	子育て世代のワーク・ライフ・バランス実現プロジェクトは順調に進行しているが、重要業績評価指標の達成には繋がっていないため、各実施計画事業について、プロジェクトが目指す方向性を意識しながら事業展開を図る必要がある。	
方向性	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、その必要性やメリットを理解した上で、各種事業を展開するとともに、二宮町次世代育成支援対策及び女性活躍推進法に関する特定事業主行動計画に基づき、まずは、役場内において仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを進め、対外的な発信へと繋げていく。また、各種講座・講演会を開催し、ワーク・ライフ・バランス実現のための普及啓発を図る。	

◎最終評価者[庁内評価委員会]

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	環境と風景が息づくまちづくりを実現するためには、子育てと仕事の両立の推進は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。 今後さらに推進するために、社会全体の男女共同参画意識の底上げを図るため、その必要性をあらゆる世代が共感できるよう、引き続き、啓発活動を展開する。併せて、これまでの取り組みにより高まったワーク・ライフ・バランスに対する関心を具体的な行動の変化に結びつけるため、事業者としての二宮町は、職員一人ひとりが意欲と能力を発揮できる人材育成と職場環境づくりをより一層進め、内外の取り組みを牽引する。	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり
概要	町内の産業の活性化を図るため、商工会等と連携し、起業・開業支援を行います。

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 商工業の振興	1	B
(2) 起業支援	-	-
課題 (箇条書き)	・町内で創業を目指す事業者への支援体制の構築に取り組むため、創業支援事業計画の策定を進める必要がある。	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
	説明	商工会主催の創業塾において、定員を超える参加者がある等、町内での起業・開業機運が高まっていることから、現状の支援策を継続するとともに、起業・開業希望者のニーズを踏まえた支援の強化を検討する。
	方向性	町内における起業・開業機運の高まりを受け、早急に起業・開業の支援体制を構築する必要があるため、創業支援事業計画を策定し、国の認定を目指す。併せて、町内における起業・開業の実態を把握し、課題やニーズに対応する効果的・効率的な支援を推進する。

◎最終評価者[庁内評価委員会]		
	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	環境と風景が息づくまちづくりを実現するためには、地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。 今後さらに推進するために、社会経済情勢の変化やニーズを踏まえた上で、商工会をはじめとした関係機関と連携し、起業に関するさまざまな情報やノウハウの提供等により、起業を促進する体制の充実に努める。併せて、地域の資源や特性を活かした新たな産業の創出や空き家・空き店舗のマッチング支援等、新たなビジネスを生み、育てる取り組みを推進する。	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出
概要	<p>元気な高齢者や資格を持った方等が身近な場所で働くことができるような環境づくりを進めます。</p> <p>また、農業については、町の主要産業の1つですが、後継者不足等により担い手不足の状況にあります。そのため、就農希望者等に対する農地のあっせんや就農相談等総合的な支援を図るとともに、特産物の普及・奨励等により食の地産地消を進めます。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 農林業振興の推進	3	B
(2) 水産振興の推進	2	B
(3) 特産品の普及と二宮ブランドとの連携	1	B
(4) 二宮ブランドの普及・促進	-	-
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内中小企業の振興を図るために、商工会や商店連合協同組合と連携を図っているが、現状においては就業応援まで及んでいない。 ・遊休・荒廃農地は、荒廃農地の発生・解消状況に関する調査において、増加傾向は見られないが、減少するまでに至っていないため、利用集積を促進する必要がある。 ・特産物のオリーブについては、果実等の販売や加工方法等が確立されていない。 	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・平塚ハローワークに確認(平成29年2月)したところ、町内の約60事業所が求人募集を行っており、約150人の町民が求職者情報を登録しているが、企業側と求職者側とのズレが生じているため、原因の分析等が必要である。 ・平成28年度は、複数の就農相談を受けたが、新規農業参入には至らなかったため、更に農業参入しやすい環境づくりのサポート等を行う必要がある。 ・特産物の普及としては、オリーブの販売や加工方法等を確立する必要がある。
	方向性	今後においても法律等の動向を注視するとともに、ハローワーク等と連携を図り、雇用の促進を図っていく。 農業については、遊休・荒廃農地の解消と新規農業参入者の増加や利用集積の促進を図る。 また、特産物の普及としては、オリーブの販売や加工方法等の確立を図る。

◎最終評価者[庁内評価委員会]

A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	B
意見等	環境と風景が息づくまちづくりを実現するために、身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。 今後さらに推進するために、商工会や商店連合協働組合、ハローワーク等と連携し、求職者のニーズと企業ニーズのマッチングを促進し、経営と雇用の両面から事業者を支援することで、雇用の維持・促進を図る。併せて、農業については、国の政策が大きな転換点を迎えていることから、情報収集に努めるとともに、農業者や関係機関との連携により、農業の持続的発展と加工等による高付加価値化に向けた支援を継続する。

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討
概要	豊かな自然環境に恵まれている二宮町において、町内の地形等を活かした再生可能エネルギー導入の可能性を含め、計画を策定します。

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 低炭素社会の形成	1	A
課題 (箇条書き)	・地球温暖化対策検討委員会を開催し、「二宮町における再生可能エネルギー導入の可能性(適性)」、「再生可能エネルギー導入を含めた地方公共団体実行計画(区域施策編)の策定」について検討を行い、町民の温暖化対策の意識付けを行う等、基盤づくりを優先すべきであるという方向性を見出すことができた。	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	D
説明	実行計画(区域施策編)の策定に際しては、区域の温室効果ガスの排出量の現況推計や将来推計を算出する必要があり、これには相当の時間を要するため、現状では策定することは難しい。そのため、まずは、町民の温暖化対策の意識付けを行うための基盤づくりを優先的に行っていることから、基本目標の達成に向けて、施策全体を見直す必要がある。	
方向性	「COOLCHOICE(賢い選択)」の賛同者拡大による温暖化防止に関する機運の向上を図る。 地球温暖化対策検討委員会の検討結果を踏まえ、民間事業者による再生可能エネルギー事業の導入促進に向けた支援等について、温暖化対策事業化実施研究会で検討する。	

◎最終評価者[庁内評価委員会]

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	D
意見等	環境と風景が息づくまちづくりを実現するために、町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したが、実行計画(区域施策編)を策定するためには、町民意識の向上が優先すべき事項であることから、基本構想の達成に向け、重点的方針全体を見直す必要がある。 今後さらに推進するために、国や県のエネルギー政策や産業政策の今後の動向を注視しながら、本町の実情を踏まえ、町民団体や民間事業者が実施する再生可能エネルギー事業に対する支援の手法について検討を進めるとともに、協働して推進するための基盤づくりを行う。	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	災害や犯罪に備える地域づくり
概要	<p>町民が安心して住み続けられる町にするためには、災害時でも安全性を確保できるまちづくりが重要となります。</p> <p>大規模な震災をはじめ、台風による高波被害、ゲリラ豪雨による都市型水害等の災害に対応するため、町民と協力・連携した防災・減災まちづくりの推進を図るとともに、消防・救急活動体制の強化を図ります。</p> <p>また、地域による防犯体制の充実や交通安全対策等、安全・安心なまちづくりを推進し、全ての町民が危険や不安を感じることはないような体制づくりに努めます。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 消防・救急活動の充実強化	1	A
(2) 交通安全・防犯施設の充実強化	2	A
(3) 消費生活	1	A
(4) 地域の安全力の向上	1	A
(5) 自助活動の推進	1	B
(6) 共助活動の推進	1	B
(7) 公助活動の危機管理体制の強化	1	A
課題 (箇条書き)	<p>・今後は、地区防災マニュアル策定の手引き(雛形)を基に各地区の特性に合わせたマニュアル作成が必要となる。</p>	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	A
	<p>説明</p> <p>地区防災マニュアル策定を含め、交通安全、防災及び防犯等について、地域、行政及び関係団体が連携し、町内全域での安全安心なまちづくりを推進していく体制づくりが図られている。</p> <p>行政をはじめ、地域の安全力向上に必要な関係団体相互の連携強化を図るため、二宮町安全安心まちづくり推進協議会の効率的な運営を継続する必要がある。</p>	
	<p>方向性</p> <p>現在の連携体制及び関連活動の維持強化を図りつつ、地区防災マニュアル策定等による全町的な防災力向上を推進する。</p> <p>併せて、関係機関との緊密な連携により、町内全域で安全安心なまちづくりを推進する体制の強化を図るとともに、地域の安全力の向上のため、見守り活動等を効率的、かつ、継続的に実施する。</p>	

◎最終評価者[庁内評価委員会]

<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	A
<p>意見等</p> <p>交通環境と防災対策の向上を実現するためには、災害や犯罪に備える地域づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。</p> <p>今後さらに推進するために、持続性のある防災教育、普及啓発のあり方を考慮した上で、迅速かつ適切な対応ができる地域社会の構築のため、地域の実情に即したマニュアルの作成及び地域との連携による防災訓練の実施等により、地域、行政及び関係団体が連携し、町全体の自主的な防災・防犯意識の向上を図る。</p>	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
概要	<p>高度経済成長に伴い、昭和40年代に多くの公共施設を整備してきましたが、現在では老朽化が進み、また、人口やその構成が変化していることから、公共施設のあり方について、見直す必要があります。</p> <p>そこで、公共施設の総合的なマネジメントにより、施設の適正な配置と維持管理を推進するとともに、戦略的な有効利用を図ります。</p> <p>また、コンパクトな町域に市街地を形成している町の特徴を活かしたまちづくりを進めるため、計画的な土地利用の誘導を図り、誰もが移動手段を確保できるような、交通網の形成を図ります。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導	1	A
(2) 交流ゾーンの検討	1	A
(3) 道路の整備と管理	1	A
(4) 地域交通の確保	1	C
(5) 公園・広場の充実と適切な管理運営	1	B
(6) 安全で効率的な情報システム運営	1	A
(7) 公共施設の適正な維持管理・再編	2	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の策定方針を策定したが、財源の確保や民間との連携の可能性などの課題を含め、実施計画の策定を進める必要がある。 ・また、取り組みについては、広く町民に周知し、知っていただく必要がある。 	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	A
	<p>説明</p> <p>公共施設再配置・町有地有効活用実施計画策定方針を策定し、次年度に策定する実施計画により計画的に事業を推進していく。また、二宮町公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設だけでなくインフラについても計画的に事業を推進していく。なお、東大果樹園跡地は、シンボル事業に選定し、具体的な活用方法は町民ワークショップなども活用して検討を行う。</p>	
	<p>方向性</p> <p>公共施設再配置・町有地有効活用については、策定方針に基づき、今後、10年間に実施していく具体的な内容を実施計画としてとりまとめていく。その際には、様々な角度からの視点で検討を行う必要があるため、町民ワークショップや町民意見募集などを実施していく。</p>	

◎最終評価者[庁内評価委員会]

<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	A
<p>意見等</p> <p>交通環境と防災対策の向上の実現のために、公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。</p> <p>今後さらに推進するために、単なる施設数や面積の削減ではなく、町民が安全で安心して利用できる施設やサービスの提供という観点から、町民参画や積極的な情報共有により町民の理解や協力を得ながら、将来における施設の適正配置や維持・管理、町民サービスのあり方等を踏まえたまちづくりの実現に向け、検討を行う。</p>	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	職員のスキルアップによる運営能力の向上
概要	窓口等における町民への職員の対応の向上や、施策に関連する専門知識の蓄積等、業務に関する能力の向上を図るとともに、公平で効率的かつ効果的な施策・事業の運営能力を身につけられるよう、体系的・段階的な人材育成の方針に基づき計画的な人材育成を行ないます。

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 職員の能力の向上	2	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の育成については、研修の体系化を図り、計画的に進める必要がある。 ・窓口サービスについては、職員の対応能力の更なる向上とともに、今後の証明発行等窓口のあり方を検証する必要がある。 	

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	A
説明	人材育成基本方針に沿って研修や人事評価等に取り組んでおり、窓口サービス検討会においても関係課と連携し検討を進めている。	
方向性	引き続き、窓口サービスの向上を図るとともに、人材育成基本方針に基づき計画的な人材育成を進め、職員の能力向上に取り組む。	

◎最終評価者[庁内評価委員会]

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある	A
意見等	戦略的行政運営の実現のために、職員のスキルアップによる運営能力の向上は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。 今後さらに推進するために、より一層、職員一人ひとりの意欲や持てる力を最大限引き出し、伸ばすとともに、職員の能力開発は各所属における日々の業務を通じて図られることから、職員相互に成長できる職場環境づくりに努める。併せて、職員個々の能力を組織の力に変えることができる環境や制度の整備により、組織全体の強化・向上に繋げる。	

施策評価シート(平成28年度実績)

基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進
概要	<p>戦略的な自治体運営を推進するため、長期的な視点に立ち、周辺自治体や町民、民間等との連携や、施策や事業等の柔軟な運用を行います。</p> <p>また、事業及び施策について、外部評価も含めた評価制度を活用し、効率的・効果的な運用を進めるため、事業費を含めた見直しや、統廃合を進めます。</p>

基本計画(分野別方針)事業名	実施計画 事業数	総合評価
(1) 計画的な行財政改革の促進	3	B
(2) 安定的な財政基盤の確立	2	B
(3) 広域連携の推進	1	A
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・施策や事業の見直しに繋がる、また町民にわかりやすい評価システムの構築と、次期計画の策定に向けた、現計画総括の手法の検討。 ・公会計を統一的な基準へ改定し、活用する段階へ移行する。 ・徴税については、新たな納付方法について検討し、速やかな滞納処分を実施する。 ・様々な枠組みにおける広域連携を模索しながら、目的を明確にしていく必要がある。 	

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
説明	<p>各種評価システムについては、町民にわかりやすく、業務改善に繋がるような改善が必要。また、公会計における財務諸表作成の委託業務が確立されつつあるが、職員のスキルアップによる改善の可能性はある。なお、収納率向上・財源確保のため必要な措置については引き続き推進するとともに、広域的な枠組みにより、様々な行政課題の解決を図る必要がある。</p>	
方向性	<p>①町民が理解できる、②職員が業務改善の意識を持てる、③職員の業務負担を軽減する、の3つの視点を持って評価システムの見直しを進め、次期計画へと繋げる。また、公会計の活用にあたっては、活用可能分野を定めた上で、資料調製、公表に臨む。なお、引き続き収納の機会の維持・拡充を図り財源確保に取り組むとともに、スケールメリットが期待できる業務や広域的な連携が必要な業務などについて広域行政を推進し、効果的な行政サービスを目指す。</p>	

◎最終評価者[庁内評価委員会]

総合評価	<p>A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き施策を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 施策を推進するためには、事業を改善する必要がある D: 施策全体を見直す必要がある</p>	B
意見等	<p>戦略的行政運営を実現するために、戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後さらに推進するために、各種評価システムについては、評価に事業仕分けの視点を加えた上で評価システム自体を簡略化し、その結果のさらなる活用により、評価結果を経費削減や業務の見直しに繋げる。また、収納体制の強化や滞納整理をより一層推進し、収納率の向上を図ることで、自主財源の確保と安定的な行政サービスの提供を実現する。併せて、広域的な行政課題や自治体間で共通する行政課題の解決に向け、県や近隣市町村との連携を深めるとともに、既存の枠組みにとらわれることなく、柔軟にそのあり方や手法について検討する。</p>	

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり
概要	<p>子どもの健やかな成長と安心して子育てが出来る体制の実現のため、子育て世代包括支援センターを設置し、健康診査や健康相談・訪問指導等、妊娠、出産から、育児期を通じた切れ目のない支援の充実を図ります。</p> <p>また、食育の推進や学童期・思春期における保健対策や小児医療費の助成等により、子育てしやすい環境整備を行います。</p> <p>さらに、コンパクトな町ならではの特徴を活かし、地域ぐるみで子育て支援体制を構築することで、すべての家庭が地域で安心して子育てできる環境整備を図ります。</p> <p>また、保育の質の向上と量の確保を図るとともに、子育てに関する講座の開催や相談を通じて、保護者がともに育ち育て合う環境づくりに取り組みます。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	保健サービス推進事業 (No.12)	13	90.4	61.5	30.8	0.0	7.7
(2)	子育て世代包括支援センター (No.14)	2	90.3	0.0	100.0	0.0	0.0
(3)	保育サービス充実事業 (No.15)	5	96.6	80.0	20.0	0.0	0.0
(4)	地域子育て環境づくり事業 (No.16)	2	84.8	50.0	50.0	0.0	0.0
(5)	子育て家庭への支援 (No.17)	2	88.5	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	要支援児童への対応 (No.18)	2	94.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(7)	地域子育て推進事業 (No.19)	2	75.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(8)	放課後児童対策事業 (No.20)	1	98.2	100.0	0.0	0.0	0.0
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・増加するニーズに対応するために、母子保健部門、発達支援関係部門の連携が必要 ・子育て世代包括支援センターについての住民への周知 ・増加する保育ニーズへの対応 ・保育士、まかせて会員(ファミサポ)などの人材確保 						

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	B
	説明	妊娠期から子育て期の包括的な支援を実施出来ているが、多様化し増加するニーズに対応していくためには、母子保健と発達支援部門などの横断的な連携の強化が必要である。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	子育て世代包括支援センターとして、子どもの発達状況に応じた包括的な支援が出来る体制づくりの強化が必要である。また、保護者が気軽に利用できるように、取り組みについて周知を行う。		

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持

② 改善して町が実施

③ 改善して町以外が実施

④ 要検討

意見等

生活の質の向上と定住人口の確保を実現するためには、子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。

今後、さらに推進するために、子育てサロンや一時預かり事業と連携し、多様化する保育ニーズに対応する受け皿の確保に努める。また、子育て世代包括支援センターにおいては、保護者が抱える育児に対する不安が解消できるように、子どもの発達状況に応じた保健師等の専門職の支援や各部門との横断的な連携による包括的な受け入れ体制の強化に努め、子どもの健やかな成長を保護者とともに取り組む体制の実現を目指す。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
概要	<p>児童生徒の確かな学力とたくましく生きるための体力の向上を柱に、子どもたちの生きる力を育むため、特色ある学校づくりによる教育内容の充実と、地域活動への参加等の体験活動を通じた地域社会との連携を推進します。</p> <p>また、すべての児童生徒が安心して学べる教育環境をさらに充実させるため、児童生徒一人ひとりの成長に寄り添ったきめ細かな支援を行うとともに、将来を見据えた学校教育、学校施設のあり方について検討を行います。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	特色ある学校教育推進事業 (No.21)	18	96.0	83.3	16.7	0.0	0.0
(2)	コミュニティ・スクール導入促進事業 (No.22)	2	77.0	0.0	100.0	0.0	0.0
(3)	支援教育推進事業 (No.23)	1	97.3	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	教育相談・教育支援室事業 (No.24)	1	95.3	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	教育施設整備事業 (No.25)	11	97.3	54.5	45.5	0.0	0.0
(6)	学校・地域連携事業 (No.26)	2	88.6	50.0	50.0	0.0	0.0
(7)							
(8)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・全学校がコミュニティ・スクールとなることに伴い、町民理解と参加を得るためにさらなる周知が必要であるとともに事業体系の見直しが必要。 ・支援の必要な児童・生徒が増加している。 ・学校の統廃合、学区の再編については、保護者を始めとした町民理解を得る必要がある。 ・学校施設の計画的な維持管理。
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	A
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・「二宮町小中一貫教育校導入検討会」により、学校再配置の検討にあたっての条件整理を行った。 ・小中一貫教育校の設置を見据え、9年間を見通した統一的なカリキュラム作りが順調に進んでいる。 ・特に、英語教育については、「小中一貫教育英語科指導研究員」を活用した小学校学級担任の授業力向上に取り組んでいる。

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・外部有識者、保護者、学校長、地区長などから構成する「小中一貫教育校推進研究会」のご意見を踏まえ、教育委員会として「二宮町立学校再配置実施計画(案)」を策定する。 ・一色小学校に学校運営協議会を設置するとともに、他の4校をコミュニティ・スクールとするための検討を開始する。 						

◎最終評価者[庁内評価委員会]

- ① 現状維持
 ② 改善して町が実施
 ③ 改善して町以外が実施
 ④ 要検討

意見等

生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。
 今後、さらに推進するために、次期学習指導要領の改訂をはじめ、今後予想される様々な改革に対応できる学校を目指し、子ども一人一人の個性や発達状況に応じた教育活動に取り組む。また、学校、地域、保護者が連携し、コミュニティスクールの取り組みを充実させ、地域とともに、将来を担う子どもたちの豊かな人間性を育んでいくとともに、小中一貫教育を見据えた上で、学校規模の適正化及び学区の再編について検討し、すべての児童生徒が安心して学べる教育環境のさらなる充実を図る。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
概要	<p>高齢化の進展に伴い、高齢者の就労や活躍の場づくり、社会参加に向けた活動の支援について推進する必要があります。</p> <p>高齢者が地域の中でいきいきと暮らせる生活環境づくりを進めるとともに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築し、推進を図ります。</p> <p>また、子どもや高齢者、障がい者等、誰もがいくつになっても地域で健やかに自立した生活を送ることができるよう、気軽に運動ができる環境づくりを進めるとともに、民間の力を活かした健康・体力づくりの機会をつくること等により、未病に対する取り組みを推進し、町民の健康・体力増進を図ります。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	地域福祉支援事業 (No.3)	13	90.4	61.5	30.8	0.0	7.7
(2)	生活支援サービス推進事業 (No.4)	5	80.7	80.0	20.0	0.0	0.0
(3)	高齢者生きがい対策事業 (No.5)	2	94.7	50.0	50.0	0.0	0.0
(4)	雇用機会の充実の検討 (No.6)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
(5)	一般介護予防事業 (No.7)	2	71.9	50.0	50.0	0.0	0.0
(6)	介護サービス推進事業 (No.8)	14	77.5	100.0	0.0	0.0	0.0
(7)	保健サービス推進事業 (No.12)	13	90.4	61.5	30.8	0.0	7.7
(8)	地域医療連携推進事業 (No.13)	3	97.8	66.7	33.3	0.0	0.0
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の通いの場の継続的な運営 ・地域の助け合い活動に結びつけるための地域の協議体の設置 ・医療介護連携事業の準備 ・担い手不足と意識啓発 						

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	A
	説明	未病センターの開設により、健康づくりの拠点が整備できた。また、地域全体で介護予防に取り組む地域の通いの場が始まり、一色小学校区福祉協議会の設置ができ、他の地区についても地域の協議体設置のための準備をした。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施
<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	地域包括ケアシステム関係事業は継続的に実施しなければならないため、地域の理解を得ながら計画的に実施する必要がある。また、未病センターや地域の通いの場ができたことにより、健康づくりや介護予防の取り組みが進んでいるため、さらに主体性を持って継続させることで健康寿命の延伸を目指す。		

◎最終評価者[庁内評価委員会]



① 現状維持



②改善して町が実施



③改善して町以外が実施



④要検討

意見等

生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。

今後、さらに推進するために、未病センターにおいて、健康状態の見える化や健康づくり事業が気軽にできることにより、町民が主体的に健康管理ができる環境を整え、健康増進への意識向上へとつなげる。また、住み慣れた地域の中でも継続できるように、関係機関や町民と連携を図り、健康づくりに取り組むとともに、活動を通じて地域のつながりを深め、互いに支え合う関係を築き、誰もが地域の中で健やかに生活を送れる環境づくりを図る。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	「にのみやLife」の提案と発信
概要	<p>人口の減少傾向を抑制するために、「二宮町に住み続けたい」、「二宮町に戻ってきたい」、「二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるようなライフスタイル「にのみやLife」として確立し、そのプロモーション戦略を推進することで、今までとは違う新たな「人の流れ」を創出します。</p> <p>「にのみやLife」を確立するためには、新たな魅力を創出する、または既存の魅力を活かしながら更に魅力を高めることに取り組み、「住んで良かった」と実感してもらえよう、様々な世代の生活スタイル・ライフステージに応じた定住支援施策や移住支援施策の展開を図ります。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	保健サービス推進事業 (No.12)	13	90.4	61.5	30.8	0.0	7.7
(2)	子育て世代包括支援センター (No.14)	2	90.3	0.0	100.0	0.0	0.0
(3)	保育サービス充実事業 (No.15)	5	96.6	80.0	20.0	0.0	0.0
(4)	地域子育て環境づくり事業 (No.16)	2	84.8	50.0	50.0	0.0	0.0
(5)	子育て家庭への支援 (No.17)	2	88.5	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	要支援児童への対応 (No.18)	2	94.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(7)	地域子育て推進事業 (No.19)	2	75.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(8)	放課後児童対策事業 (No.20)	1	98.2	100.0	0.0	0.0	0.0
(9)	住環境向上支援事業 (No.35)	2	71.5	0.0	50.0	0.0	50.0
(10)	住宅ストック管理流通活用事業 (No.36)	1	38.6	0.0	100.0	0.0	0.0
(11)	同居・近居推進事業 (No.37)	1	57.1	0.0	100.0	0.0	0.0
(12)	広報活動事業 (No.70)	3	91.6	66.7	33.3	0.0	0.0
(13)	「にのみやLife」全国展開シティブロモーション事業 (No.71)	1	98.5	100.0	0.0	0.0	0.0
(14)	対話型まちづくり推進事業 (No.72)	1	-	100.0	0.0	0.0	0.0
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり事業の充実と周知・啓発 ・保育士等の人材不足、増加する保育ニーズの受入体制 ・子育てに関する相談件数の増加 ・情報発信の重要性の認識と発信方法の検討 ・平成31年度までのシティブロモーション戦略、移住促進用パンフレット、移住セミナー、「にのみやLOVERS～まちの魅力伝え隊～」の今後の活用と展開 ・まちづくり移動町長室のより効果的、効率的な実施方法の検討 ・住宅リフォーム助成事業は、次年度に向けて他制度との整理、統廃合を検討 ・地籍調査事業は、将来に向けて事業のあり方を再検討 						

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	B
	説明	「このみやLife」の提案と発信は、「このみやLOVERS～まちの魅力伝え隊～」と連携し、移住セミナーへの参加、移住・交流・体験イベントの開催により、戦略で定めるターゲットに向け認知度を高めることができたことで、平成29年4月～平成30年3月までの転出者と転入者の数において、6年ぶりに転入者が上回るなど、結果につながりつつある。同居・近居制度をはじめとした住宅に関する各種助成制度については、各課題が浮き彫りになってきたため、事業の見直しを図る必要がある。また、保育ニーズの受入体制や健康づくり事業の充実など、町の基盤を強化することで、「二宮町に住み続けたい・住んでみたい」という町の魅力に結びつけていく。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	引き続き、町民等と連携した中で『「このみやLife」の提案と発信』を展開し、町内外に対して二宮町の魅力を効率的・効果的に発信できるよう努める。また、保育や健康づくりの事業の改善を図り、町の魅力を充実させるとともに、定住支援策として各種住宅に関する補助制度については、利用者の声や実績を分析し、制度の統廃合や事業規模の見直し、さらなる人の流れに結びつける。		

◎最終評価者[庁内評価委員会]			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、「このみやLife」の提案と発信は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。 今後、さらに推進するために、「このみやLife」シティプロモーション戦略に基づき、町民や関係団体等の参加や協力を得ながら、適切な情報発信を続けていく。また、情報発信の内容を充実させるために、新たな魅力の創出も視野に入れながら、町の魅力となる各分野の事業の充実と強化を図り、町のイメージ向上と新たな人の流れへとつなげていく。		

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	地域コミュニティの醸成支援
概要	<p>少子高齢化の進展・働き方の変化等から、地域活動の人材が不足し、地域コミュニティの維持が難しくなっている地域が出てきています。</p> <p>そのため、子育て世代や元気な高齢者等、全ての世代がコミュニティ活動に参加しやすく、安全・安心に住み続けられるコミュニティの醸成を支援します。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	町民活動創出支援事業 (No.73)	1	84.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)	事業費補助方式の検討 (No.74)	1	-	0.0	100.0	0.0	0.0
(3)	地域コミュニティ支援事業 (No.77)	1	98.8	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	地域間交流事業 (No.78)	1	35.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	ボランティア活動支援事業 (No.79)	1	-	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)							
(7)							
(8)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民活動団体の活性化、自立を図るための補助制度の周知 ・ボランティア団体等の支援、サポートセンターの利用方法の見直し ・地区割の見直し
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	A
	説明	地域コミュニティ醸成支援のため、各事業の進捗は順調である。課題である地域活動の人材不足や地域コミュニティの維持については、地域や地域外の人とのつながりを築きつつある一色小学校区地域再生協議会を課題解決のためのモデルとし検証しながら、他の地区についても、既存の地区の枠組みを超えた地域の中で、誰もが参加しやすいコミュニティを醸成する方法を検討していく必要がある。

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	地域コミュニティの醸成を図るためには、地域と町が現状と課題を共有し、共通の認識を持ったうえで、住民を主体として地域の活性化の機運を醸成する必要がある。また、人口減少・少子高齢化による担い手不足を解消するには、地区の枠組みについても研究する必要がある。						

◎最終評価者[庁内評価委員会]



① 現状維持



②改善して町が実施



③改善して町以外が実施



④要検討

意見等

生活の質の向上と定住人口の確保を実現するために、地域コミュニティの醸成支援は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいる。

今後さらに推進するために、町民の主体的な活動の現状と課題を、しっかりと分析した上で、住民とともにコミュニティのあり方を検討し、地域コミュニティ醸成への機運を高めていく必要がある。また、地域活動が持続的に行えるよう、引き続き町も支援していくことで、地域コミュニティの活性化に繋げていく。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり
概要	<p>町には多様な自然環境や歴史・文化等の地域資源が多数存在しており、その環境を暮らしの中に取り込むことで、住環境の魅力が形成されています。</p> <p>この魅力を町内外を問わず多くの人々に実感してもらうため、町の自然や歴史・文化等に触れられ、体験できる機会づくりを進めます。また、進学や就職等により町外へ転出しても、将来、生まれ育った二宮町に戻って子育てしたいと思ってもらえるよう、子どもたちに対して二宮町の自然や歴史、文化に触れられる機会づくりを進めます。</p> <p>観光で町を訪れた人が二宮に来ると「面白い」、「楽しい」と感じてほしい、「いずれは二宮町に住んでみたい」と思ってもらえるよう、観光情報の提供に努めつつ、「にのみやLife」の提案を推進していきます。</p> <p>さらに、ホールや図書館等を兼ね備えた生涯学習センター・ラディアンは町の文化・芸術活動の拠点であることから、多様な世代が集い、学習を深め、交流する場として、町内外への発信力を強化します。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	生涯学習振興事業 (No.27)	3	98.8	66.7	33.3	0.0	0.0
(2)	青少年育成支援事業 (No.28)	4	94.9	50.0	50.0	0.0	0.0
(3)	家庭・地域・学校の協力連携事業 (No.29)	1	91.5	0.0	100.0	0.0	0.0
(4)	スポーツ活動振興事業 (No.30)	2	84.6	50.0	0.0	50.0	0.0
(5)	スポーツ推進団体支援事業 (No.31)	2	92.1	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	文化振興事業 (No.32)	1	98.3	0.0	100.0	0.0	0.0
(7)	ふるさと教育推進事業 (No.33)	3	85.9	66.7	33.3	0.0	0.0
(8)	公園整備・管理事業 (No.43)	2	98.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(9)	自然保護事業 (No.44)	1	99.4	100.0	0.0	0.0	0.0
(10)	緑と花いっぱい推進事業 (No.45)	1	97.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(11)	松くい虫被害対策自主事業 (No.46)	1	90.9	100.0	0.0	0.0	0.0
(12)	環境保全推進事業 (No.47)	1	53.5	100.0	0.0	0.0	0.0
(13)	美化推進・動植物保全事業 (No.48)	3	88.7	100.0	0.0	0.0	0.0
(14)	水産振興事業 (No.63)	1	79.2	100.0	0.0	0.0	0.0
(15)	漁港整備事業 (No.64)	1	74.8	0.0	100.0	0.0	0.0
(16)	観光まちづくり推進事業 (No.69)	1	97.8	0.0	100.0	0.0	0.0
(17)	地域コミュニティ支援事業 (No.77)	1	98.8	100.0	0.0	0.0	0.0
(18)	地域間交流事業 (No.78)	1	35.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(19)	ボランティア活動支援事業 (No.79)	1	-	100.0	0.0	0.0	0.0
(20)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の担い手としてのコミュニティ・スクールの仕組み作りが必要。 ・従前より継続しているイベント事業等について時代に合った見直しが必要。 ・様々な関わりを持っていただいている町民の方々の高齢化。
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある		B
	説明	・「二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり」については、これまでも、行政以外の部分で様々な取り組みが行われている。引き続き関係する団体等との連携等を図りつつも、役割分担を検証し、効果を発揮するような改善が求められている。	

方向性							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	・人口減少、高齢化社会が進行する中で、従来通りの事業を継続することについて見直す時期に来ている。「二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり」は大切な視点だが、位置付けられた各種事業については、継続するか否か、担い手は誰か、費用負担はどうあるべきかなどの検討が必要。						

◎最終評価者[庁内評価委員会]							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	<p>環境と風景が息づくまちづくりを実現するためには、二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。</p> <p>今後、さらに推進するために、文化団体等と連携し、町民が心豊かで潤いのある生活を送れるよう、地域の歴史や文化に触れ、学ぶ機会の支援に引き続き努める。また、生涯学習をより充実させるためには、町民による自主的、主体的な活動が必要になるため、すでに活動している団体等と連携し、地域の中での活動へつなぎ、継続的に活動できるよう促進するとともに、地域での活動を通じ、地域への愛着を育む場としても結びつけていく。</p>						

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	子育てと仕事の両立の推進
概要	個人の価値観や生活スタイルに合わせ、誰もが多様な働き方を選択し、子育て世帯のワーク・ライフ・バランスを実現するために、長時間労働といった働き方の改善や女性の就業継続・支援等を目指して、家庭や企業に対する意識啓発を推進します。

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	保育サービス充実事業 (No.15)	5	96.6	80.0	20.0	0.0	0.0
(2)	地域子育て環境づくり事業 (No.16)	2	84.8	50.0	50.0	0.0	0.0
(3)	子育て家庭への支援 (No.17)	2	88.5	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	要支援児童への対応 (No.18)	2	94.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	地域子育て推進事業 (No.19)	2	75.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	放課後児童対策事業 (No.20)	1	98.2	100.0	0.0	0.0	0.0
(7)	人権啓発活動事業 (No.80)	4	93.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(8)	平和推進事業 (No.81)	1	89.9	0.0	100.0	0.0	0.0
(9)	戦没者追悼事業 (No.82)	1	99.3	100.0	0.0	0.0	0.0
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・増加する保育ニーズの受入体制 ・子育てに関する相談件数の増加 ・意識啓発を目的とした講座等の実施内容や周知方法の検討 						

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	B
	説明	計画の進捗状況、社会状況の変化、法律改正や国や県の計画の見直しに対応するため、第2次のみや男女共同参画プランを改定した。引き続き、関係機関・団体等と連携し、啓発活動や、講座の実施等に努めていく。また、ワーク・ライフ・バランス実現に向け、意識啓発だけでなく、実現できる環境を整備する必要があるため、増加する保育ニーズや子育てに関する相談に対する受け入れ体制の強化など、総合的な観点から課題に取り組む。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、その必要性やメリットを理解した上で、各種事業を展開するとともに、町職員が意識をもって各種施策、制度設計に取り組むことで、町民全体のワーク・ライフ・バランスの実現につなげていく。		

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持

② 改善して町が実施

③ 改善して町以外が実施

④ 要検討

意見等

環境と風景が息づくまちづくりを実現するためには、子育てと仕事の両立の推進は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。

今後、さらに推進するために、第2次にのみや男女共同参画プランに基づき、男女共同参画社会への意識啓発や、それを支える環境づくりを進めるとともに、町民、事業者、行政が連携して実現に向けて取り組む中で、行政がイニシアティブの役割として、仕事と子育てや介護が両立できる職場環境づくりを積極的に進め、対外的な発信へと繋げていく。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり
概要	町内の産業の活性化を図るため、商工会等と連携し、起業・開業支援を行います。

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	商工業振興対策事業 (No.66)	2	96.2	0.0	100.0	0.0	0.0
(2)	起業支援	-	-	-	-	-	-
(3)							
(4)							
(5)							
(6)							
(7)							
(8)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・時代や経済状況等に即した形での商工業振興対策の検討が必要 ・創業支援事業計画策定に伴う創業者への更なる支援の拡大が必要
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	B
	説明	高齢化等による町内業者の減少等、様々な課題がある中でも、地域経済活性化に向けて頑張っている企業もあることから、事業の進捗状況を確認し、見直し等を図りながら事業を進めていく必要がある。 町内での創業者を増やし、支援を拡大することが、新たな商業振興のとなることから、創業支援を推進していく必要がある。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	時代や経済状況を把握するとともに、商工会、商連及び町内関係機関等と連携を図りながら事業を推進していく。また、創業支援においては、創業者や創業希望者のニーズを把握しながら、支援の拡大を図っていく。		

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持

② 改善して町が実施

③ 改善して町以外が実施

④ 要検討

意見等

環境と風景が息づくまちづくりを実現するためには、地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。

今後、さらに推進するために、社会経済情勢の変化やニーズを踏まえた上で、商工業者への支援の強化を図る。また、創業支援事業計画に基づき、創業者や創業希望者に対して、商工会、金融機関等の関係機関と連携し、きめ細やかな支援に努めるとともに、創業者のニーズに応じた創業支援策の拡大を検討することにより、町に新たな仕事を生み出す環境づくりを推進する。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出
概要	<p>元気な高齢者や資格を持った方等が身近な場所で働くことができるような環境づくりを進めます。</p> <p>また、農業については、町の主要産業の1つですが、後継者不足等により担い手不足の状況にあります。そのため、就農希望者等に対する農地のあっせんや就農相談等総合的な支援を図るとともに、特産物の普及・奨励等により食の地産地消を進めます。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	農業振興事業 (No.60)	6	92.9	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)	遊休・荒廃農地対策事業 (No.61)	1	49.5	0.0	100.0	0.0	0.0
(3)	「農」のある暮らし推進事業 (No.62)	2	97.3	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	水産振興事業 (No.63)	1	79.2	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	漁港整備事業 (No.64)	1	74.8	0.0	100.0	0.0	0.0
(6)	特産物普及奨励事業 (No.65)	1	98.6	0.0	100.0	0.0	0.0
(7)	二宮ブランドの普及・促進	-	-	-	-	-	-
(8)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・就労者、事業者双方のニーズが把握できていないため、雇用創出に至っていない。 ・オリーブの地域ブランド化の確立を図る必要がある。
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	B
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会やハローワーク等と連携して、雇用のニーズを確認、分析する必要がある。 ・荒廃地対策の補助制度や農地中間管理事業等を更に周知する必要がある。

方向性			
<input type="checkbox"/> ① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	町内での雇用ニーズを把握をするとともに、近隣自治体と合同で就職説明会や就職セミナーの実施の検討などを行うことにより、事業を推進していく。 農業委員や関係機関等と連携し、更に制度の周知に努めると共に、近隣市町等と連携し地域ブランド化の検討を行う。		

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持

② 改善して町が実施

③ 改善して町以外が実施

④ 要検討

意見等

環境と風景が息づくまちづくりを実現するために、身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。今後、さらに推進するために、社会経済情勢の変化やニーズに応じた求職者と企業への支援を行うとともに、商工会やハローワーク、近隣自治体等と連携による就職説明会等の開催を検討することで、求職者のニーズと企業ニーズのマッチングを促進し、身近な地域で働くことができる環境づくりに努める。また、農業振興は、荒廃地対策の支援や補助制度を周知することで、農用地の有効活用を図るとともに、新たな特産物として普及するオリーブの地域ブランド化を目指すことで、農産物の生産から、加工・販売へと結び付け、さらには雇用の創出につながるよう、継続的な支援を行う。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討
概要	豊かな自然環境に恵まれている二宮町において、町内の地形等を活かした再生可能エネルギー導入の可能性を含め、計画を策定します。

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	地球環境保全事業 (No.51)	4	79.9	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)							
(3)							
(4)							
(5)							
(6)							
(7)							
(8)							
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮町における民間事業者による再生可能エネルギー事業の導入促進に向けた支援策等の実現にあたっては、実際に支援策を講じる関係部署等の協力が不可欠。 ・再生可能エネルギー利用の基盤づくりとして、温暖化対策に関する普及啓発が必要。 						

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	A
	説明	<p>地域の主体性を尊重し、支援を行うことで、地域を自分たちで清掃するという意識が高まっていると考える。</p> <p>推進本部体制の構築により「二宮町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」の推進を図ることができた他、温暖化対策事業化実施研究会による再生可能エネルギー事業の研究により、町に有効な導入促進支援策を研究することができた。</p>

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・実行計画の着実な推進と進行管理を行う。 ・環境教育等によって温暖化対策の意識付けを行う等、基盤づくりをしていく。 		

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持

② 改善して町が実施

③ 改善して町以外が実施

④ 要検討

意見等

環境と風景が息づくまちづくりを実現するために、町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したが、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。

今後、さらに推進するために、国や県のエネルギー政策や産業政策の動向を踏まえ策定した「二宮町地球温暖化対策実行計画」に基づき、町が行う事業により排出される温室効果ガスの削減を計画的に推進するとともに、再生可能エネルギー事業については、町に有効な導入促進支援策の実現に向け、民間事業者と引き続き連携し、推進するための基盤づくりの強化に努める。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	災害や犯罪に備える地域づくり
概要	<p>町民が安心して住み続けられる町にするためには、災害時でも安全性を確保できるまちづくりが重要となります。</p> <p>大規模な震災をはじめ、台風による高波被害、ゲリラ豪雨による都市型水害等の災害に対応するため、町民と協力・連携した防災・減災まちづくりの推進を図るとともに、消防・救急活動体制の強化を図ります。</p> <p>また、地域による防犯体制の充実や交通安全対策等、安全・安心なまちづくりを推進し、全ての町民が危険や不安を感じる事のないような体制づくりに努めます。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	消防・救急活動事業 (No.52)	10	79.3	90.0	10.0	0.0	0.0
(2)	交通安全推進事業 (No.53)	2	99.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	防犯対策強化事業 (No.54)	1	99.2	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	消費者対策事業 (No.55)	1	99.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(5)	地域の安全力向上 (No.56)	1	-	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	耐震相談・診断事業 (No.57)	1	24.9	0.0	100.0	0.0	0.0
(7)	地域防災支援事業 (No.58)	2	97.7	50.0	50.0	0.0	0.0
(8)	防災・危機管理体制強化事業 (No.59)	6	42.5	83.3	16.7	0.0	0.0
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、防犯、交通安全における地域及び関係機関との連携強化と活動格差の解消 ・防災、消防における関係機関との連携強化による危機管理体制の向上と設備の維持 ・災害における自助、共助、公助の役割の普及啓発及び訓練による防災力の向上 						

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある		A
	説明	防犯、交通安全、防災など地域や関係機関との連携が不可欠な事業においては、情報共有や相互支援の促進などが図られており、防災、消防などにおいても、国、県、近隣市町及び関係機関との合同訓練や連携調整により、危機管理体制の向上が図られている。防災施設の維持運営についても、情報提供の迅速化や効率的な運用が図られている。	

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	全ての事業においては、継続的な事業展開が不可欠であり、新たな課題等への対応含め関係機関等とのさらなる連携強化を図るとともに、災害時における自助、共助の底上げとして、各地区の自主防災組織活動マニュアルの更新や防災指導員の育成支援などを促進する。						

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持 ②改善して町が実施 ③改善して町以外が実施 ④要検討

意見等

交通環境と防災対策の向上を実現するためには、災害や犯罪に備える地域づくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。

今後、さらに推進するために、多様化する災害対応について、地域、行政及び関係団体が連携を強化し、迅速かつ柔軟に対応するとともに、地区の自主防災組織活動マニュアル等を地域とともに整備することで、防災意識の高揚を図り、地域防災力の向上につなげる。また、地域の防災活動を通じ、地域コミュニティのつながりを深め、災害時の自助・共助の強化だけでなく、防犯体制の充実にもつなげ、安全・安心して住み続けられるまちづくりを目指す。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
概要	<p>高度経済成長に伴い、昭和40年代以降、多くの公共施設を整備してきましたが、現在では老朽化が進み、また、人口やその構成が変化していることから、公共施設のあり方について、見直す必要があります。</p> <p>そこで、公共施設の総合的なマネジメントにより、施設の適正な配置と維持管理を推進するとともに、戦略的な有効利用を図ります。</p> <p>また、コンパクトな町域に市街地を形成している町の特徴を活かしたまちづくりを進めるため、計画的な土地利用の誘導を図り、誰もが移動手段を確保できるような、交通網の形成を図ります。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	土地利用調整事業 (No.34)	3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)	東大跡地・国立小児病院跡地の検討 (No.39)	1	97.8	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	道路整備・管理事業 (No.40)	5	88.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(4)	地域公共交通計画推進事業 (No.41)	2	91.9	50.0	50.0	0.0	0.0
(5)	公園整備・管理事業 (No.43)	2	98.6	0.0	100.0	0.0	0.0
(6)	情報システム運営事業 (No.88)	3	99.3	100.0	0.0	0.0	0.0
(7)	公有財産管理運営事業 (No.89)	26	93.6	61.5	30.8	3.8	3.8
(8)	安心して住み続けられる地域再生事業 (No.90)	2	98.8	100.0	0.0	0.0	0.0

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再配置・町有地有効活用の実現に向けた計画の進行管理と財源の確保 ・コミュニティバスの再編による効果検証 ・開発等指導事業の制度を分かり易く解説する『開発の手引き』の改訂 ・道路整備等の住民要望や施設維持のための財源確保
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	A
	説明	<p>公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の策定により、公共施設再配置の短期10年間の具体的な取り組みが明らかになったため、引き続き、計画に基づき事業を推進していく。また、東大跡地は、平成31年度からの土地活用について、町民ワークショップや意見募集等により、町民とともに検討を進めていく必要がある。インフラについては、二宮町公共施設等総合管理計画に基づき、計画的に事業を推進していくとともに、地域公共交通についても、コミュニティバスの再編の状況を検証し、地域と協議をしながら、地域公共交通の維持を図っていく。</p>

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	<p>公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づき、今後、短期10年間の取り組みを引き続き実施していく。また、公共施設の適正な配置とインフラの維持管理、地域公共交通の確保等は、時代の変化や住民のニーズに対応する必要があることから、町民ワークショップや意見募集など、町民の意見を取り入れながら検討していく。</p>						

◎最終評価者[庁内評価委員会]



① 現状維持



②改善して町が実施



③改善して町以外が実施



④要検討

意見等

交通環境と防災対策の向上の実現のために、公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくりは重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいる。

今後、さらに推進するために、長期的な公共施設・土地利用のあり方を見据えながら、計画に基づき、将来における施設の適正配置や維持管理を推進していく必要がある。そのために、町民意見の積極的な聴取や、町民の主体的な管理運営組織の立ち上げなど、町民とともに取り組んでいけるまちづくりの手法を検討していく。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	職員のスキルアップによる運営能力の向上
概要	窓口等における町民への職員の対応の向上や、施策に関連する専門知識の蓄積等、業務に関する能力の向上を図るとともに、公平で効率的かつ効果的な施策・事業の運営能力を身につけられるよう、体系的・段階的な人材育成の方針に基づき計画的な人材育成を行います。

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	職員育成推進事業 (No.75)	2	97.6	100.0	0.0	0.0	0.0
(2)	窓口サービス総合推進事業 (No.76)	1	-	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)							
(4)							
(5)							
(6)							
(7)							
(8)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・職責や経験に応じた研修体系を整備し、効果的な研修を進める必要がある。 ・効率的でよりよい窓口サービスを提供するため、更なるスキルアップを図るとともに、町の規模に適した窓口サービスについて検討する必要がある。
--------------	---

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	A
	説明	各課・班の連携による窓口の案内、対応が行われており、人材育成についても研修や人事評価により職員の能力向上に取り組んでいる。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 要検討
意見等	更なる窓口サービスの向上を図るため、町の規模に適した窓口サービスの在り方について検討を進める。また、人材育成基本方針に基づき、職員研修や人事評価を通じ引き続き職員の育成を推進する。		

◎最終評価者[庁内評価委員会]



① 現状維持



②改善して町が実施



③改善して町以外が実施



④要検討

意見等

戦略的行政運営の実現のために、職員のスキルアップによる運営能力の向上は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んだため、引き続き、取り組みを推進する。

今後、さらに推進するために、多様化する住民ニーズを的確に捉え、限られた資源をより効率的に運用し質の高い行政サービスを提供できるよう、研修等を通じ、職員一人一人の資質向上に努める。また、職員の育成は、個々の自己啓発を組織的に支援する必要があるため、職場での支援体制を充実させるとともに、町民との交流により情報を共有し、地域の課題を町民の目線で捉えられるよう、意識改革へとつなげる。

施策評価シート(平成29年度実績)

基本構想	戦略的行政運営
重点的方針	戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進
概要	<p>戦略的な自治体運営を推進するため、長期的な視点に立ち、周辺自治体や町民、民間等との連携や、施策や事業等の柔軟な運用を行います。</p> <p>また、事業及び施策について、外部評価も含めた評価制度を活用し、効率的・効果的な運用を進めるため、事業費を含めた見直しや、統廃合等を進めます。</p>

	実施計画事業名	事業数	事業費執行率(%)	総合評価(%)			
				A	B	C	D
(1)	総合計画推進事業 (No.83)	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
(2)	総合戦略推進事業 (No.84)	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(3)	行政改革推進事業 (No.85)	3	-	33.3	66.7	0.0	0.0
(4)	財政管理事業 (No.86)	1	86.2	0.0	100.0	0.0	0.0
(5)	収納率向上対策事業 (No.87)	2	95.1	100.0	0.0	0.0	0.0
(6)	広域行政推進事業 (No.91)	3	100.0	33.3	33.3	33.3	0.0
(7)							
(8)							

課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民にわかりやすい各計画の評価システムの構築 ・施策や事業の見直しに直結できるような各計画の評価手法の検討 ・総合計画中期基本計画及び第4次行政改革大綱の総括の方法の検討 ・新たな広域連携事業の検討 ・公会計の予算等への活用の研究 ・費用対効果を考慮したうえでの納税機会拡大の検討
--------------	--

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業を改善し、より政策を進める必要がある D: 施策を見直す必要がある	B
	説明	平成30年度は、総合計画中期基本計画及び第4次行政改革大綱の最終年度となることから、計画の進捗や評価システムの手法の検討結果を、次期計画に繋げることが必要である。また、総合計画に基づき、効率的、効果的な行政運営を図るために、財源確保のための収納率向上や公会計活用による予算運用、様々な課題に対応できる新たな広域連携などについて、引き続き研究をしていく。

方向性							
<input type="checkbox"/>	① 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 要検討
意見等	各計画の進捗や町民に分かりやすい評価システムの手法について検討したうえで、時代の変化に対応した次期計画を策定し、財源の確保、柔軟な予算運用、地域や民間等を含めた広域連携など、引き続き効果的・効率的な行政運営を図っていく。						

◎最終評価者[庁内評価委員会]

① 現状維持

②改善して町が実施

③改善して町以外が実施

④要検討

意見等

戦略的行政運営を実現するために、戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、具体的な事業は概ね予定通り進んでいるものの、十分とは言えず、一部改善し、推進する必要がある。

今後、さらに推進するために、各種計画については、長期的な視点に立ち、様々な課題に対応した次期計画を策定するとともに、各種評価システムについては、各施策の実効性を高める行政評価の仕組みづくりを進める。また、安定的な行政サービスを提供するため、引き続き、収納機会の拡充による財源確保に努めるとともに、予算についても、公会計等を活用しながら計画的に執行し、住民のニーズに対応した柔軟な運用を図る。